

1. 製品取扱の注意事項

- ⚠ **電動ドライバーは使用しないでください。**ネジの締め過ぎにより歪みや故障の原因となります。
- ⚠ 室内機に水等の液体をかけたたり、濡れた布等で拭かないでください。故障の原因となります。
- ⚠ 電源を入れた状態で工事を行わないでください。故障の原因となります。
- ⚠ 分解、改造、修理を行わないでください。故障、発火、傷害の原因となります。
- ⚠ 浴室等の湿気の多い場所に取り付けしないでください。故障の原因となります。
- ⚠ 衝撃や振動がある場所には取り付けしないでください。故障の原因となります。

2. 作業前の確認事項

- ✔ 作業前に必ず本書を全てよく読み、理解してから作業を開始してください。
- ✔ 作業中はドアをストッパー等で固定し、中に入れなくなることがないようにしてください。
- ✔ 電動ドライバーは使用しないでください。ネジの締め過ぎにより歪みや故障の原因となります。
- ✔ 作業中に部品をドア内に落とさないように注意してください。
- ✔ 取り外したシリンダー、サムターン、その他の部品は大切に保管し、原状回復や非常対応時に備えてください。

3. 同梱品



4. 錠前とドアの状態を確認

下記の項目がすべて問題ないことを確認してください。
一つでも問題がある場合は、その問題を解決してから取り付けを行なってください。
問題がある状態で取り付けを行うと、**不具合の原因となり保証の対象外となる**のでご注意ください。

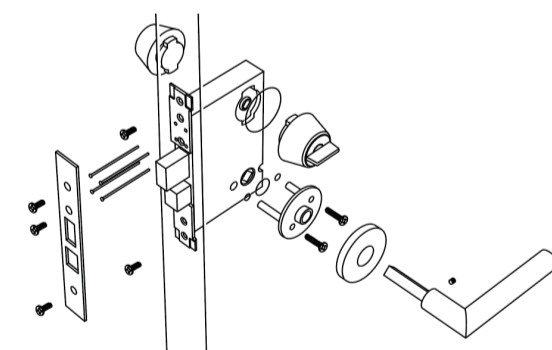
- ドアを開閉するとき、ドアと枠が干渉しておらず、スムーズに開閉できる。
- ドアを閉めた後、再び開く方向に少しも戻されない。
- 鍵を開け締めするとき、固さや重さを感じず、引っ掛かりもなく、スムーズに動く。
- ドアを閉めた後(ドアクローザーがある場合は自動的に閉めた後)、ラッチがしっかりと掛かる。
- ドアを閉めた後(ドアクローザーがある場合は自動的に閉めた後)、デッドボルトと受けは干渉せずにスムーズに動く。
- デッドボルト自体に傷、サビ等はない。

5. 既存の錠前の取り外し

既存の錠前の取り外し方法については各メーカーにお問い合わせください。下記は一部製品の例ですが、同じ型番でも異なる場合があります。

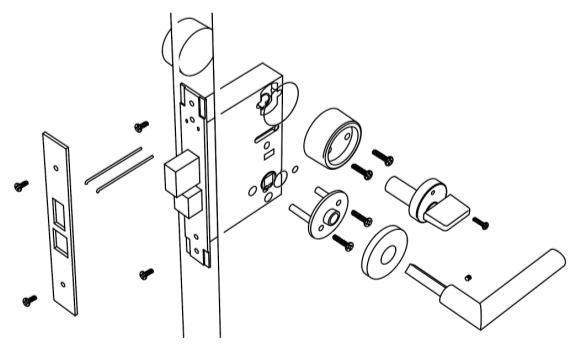
MIWA LAタイプの例

- ① ドア側面のネジを外し、フロントプレートを外す
- ② シリンダー側との固定ピンを2本抜く
シリンダーが落下しないように手で押さえながら行います。
- ③ サムターン側の固定ピンを2本抜く
サムターンが落下しないように手で押さえながら行います。



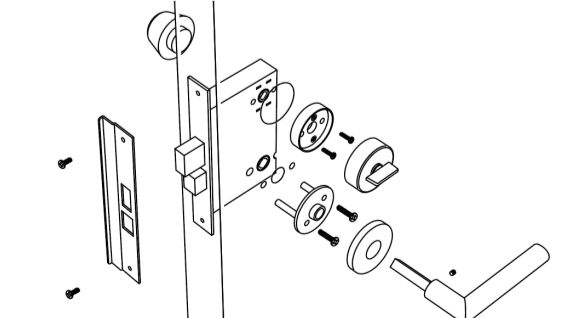
GOAL LXタイプの例

- ① サムターン側のネジを外し、サムターンを外す
- ② サムターン内部にあるシリンダー固定ネジを2本外す
- ③ ドア側面のネジを外し、フロントプレートを外す
- ④ シリンダー側の固定ピンを抜く
シリンダーが落下しないように手で押さえながら行います。
- ⑤ サムターン側の固定ピンを抜く
サムターンが落下しないように手で押さえながら行います。



MIWA LSP, GOAL TXタイプの例

- ① サムターン側のネジを2本外す
カバー内にネジが隠れている場合もあります。
- ② ドア側面のネジを外し、フロントプレートを外す
シリンダーとサムターンが落下しないように手で押さえながら行います。



レバーハンドルの例

- ① 室内側のハンドルの付け根にあるネジを外し、室内側と室外側のレバーハンドルを外す
- ② 室内側の丸座カバーを外す
- ③ 丸座カバーの内部にある2本のネジを外し、室内側と室外側の丸座を外す

6. 取り付け

取り付け動画

取り付けは正しい方法で行わないと**使用中に不具合が発生する原因**となります。実際に不具合が発生した際、**ドアから取り外して動作確認をすると問題ない**ことが多くあります。取り付けを正しい方法で行っていただくために、取り付け方法の動画を用意しています。こちらも含わせてご覧いただくことを推奨します。

取り付け方法の動画: https://epic-lock.com/flassa1j_video.html →



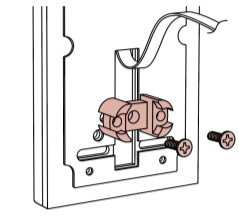
6-1. 室外機とバックパネルの取り付け

MIWA LAタイプの場合

① 取り付けの箇所(ドア)をきれいに拭く

② 室外機にLA金具Aを取り付け

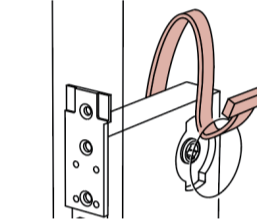
室外機の裏側にLA金具Aをネジで固定します。
この後の手順③で室内側に出ているケーブルを10cm程度にします。室外機の内部にケーブルを収める場合はこの時点で行うと二度手間になりません。



使用する部品
LA金具A
低頭ネジ M4x16 2本

③ ドアにケーブルを通す

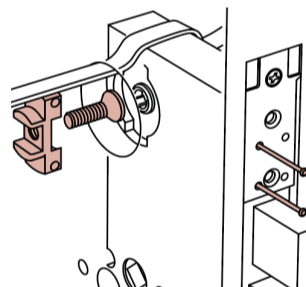
ドアのシリンダー切り欠き穴から室外機のケーブルを通します。
錠ケースの上をケーブルが通るようにし、錠ケースを取り付けます。
上を通さない場合、時間が経過した後には室外機がドアから浮いてくるため、必ず上を通すようにしてください。



室内側に出ているケーブルは10cm程度にしてください。
それ以上のケーブルはドア内部か、室外機の内部に収めてください。

④ LA金具Bをピンで固定

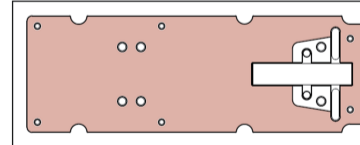
錠ケースのシリンダー取り付け部分に、LA金具BとM6ネジをセットし、錠ケースのピンで固定します。
ピンは奥まで挿し込みます。



使用する部品
LA金具B
皿ねじ M6x20

⑤ 両面テープの裏紙を剥がす

室外機の裏面に付いている両面テープの裏紙を剥がします。



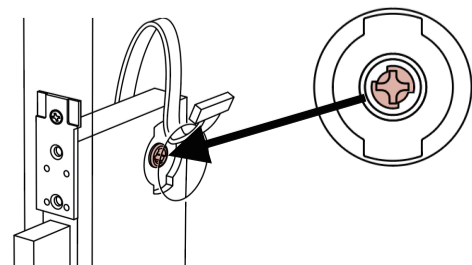
⑥ 室内側から室外機をネジ止め

室外機裏に取り付けたLA金具Aと、錠ケースに取り付けたLA金具Bが合うように室外機を錠ケースにあてがい、室内側の錠ケースの穴から見えるネジを締めて室外機を固定します。

両面テープで固定されるため、ネジを締めながら、室外機がまっすぐになるように取り付けます。

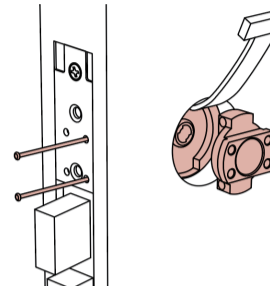
室外機がドアに密着していれば良く、**必要以上にネジを強く締める必要はありません。締め過ぎると歪みや動作不良の原因**となります。

電動ドライバーは使用しないでください。



⑦ LA金具Cを取り付け

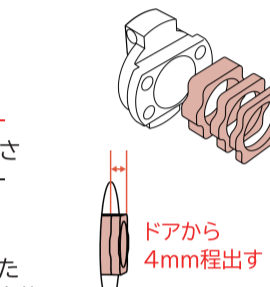
錠ケースのサムターン取り付け部分にLA金具Cをセットし、錠ケースのピンで固定します。
ピンは奥まで挿し込みます。



使用する部品
LA金具C

⑧ LAスペーサーを取り付け

⑧-1 LAスペーサーが**ドアから4mm程**出るように、使うスペーサーの厚みと数を選定してください。(足りない場合は別売スペーサーをご利用ください)



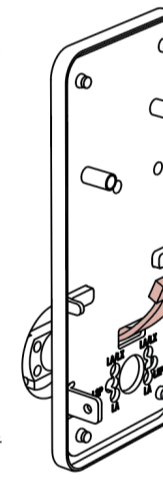
⑧-2 使うスペーサーが決まったら、シールを剥がしLA金具Cの穴位置に合わせて貼り付けます。

使用する部品
LAスペーサー

⑨ バックパネルにケーブルを通す

室外機から来ているケーブルをバックパネルの図の位置から通します。
ケーブルを**圧迫したり、傷つけないように**気をつけてください。
圧迫や傷は**動作不良や電池消耗の原因**となり、**保証対象外**となります。

ケーブルが圧迫されてしまう場合は、ドアをケーブルが通る部分だけ少し削り、圧迫されないようにしてください。
※バックセットやドアガード等の状況によりドアとバックパネルが干渉したりうまく取り付けできない場合は、別売の横型バックパネルを使用することで室外機を横向きに取り付けることができます。

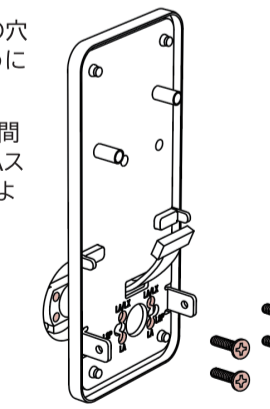


使用する部品
バックパネル

⑩ バックパネルとLA金具Cをネジ止め

バックパネルにある「LA/LX」の穴とLA金具Cのネジ穴が合うようにし、ネジで固定します。

ネジを締めても室内機とドアの間に隙間ができて浮く場合は、LAスペーサーの厚みが1mm程減るように調節してください。



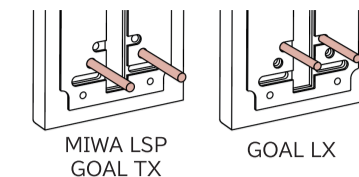
使用する部品
ドア厚30~45mm以下(目安): 低頭ネジ M4x16 4本
ドア厚40~55mm以上(目安): 低頭ネジ M4x22 4本

MIWA LSP, GOAL LX/TXタイプの場合

① 取り付けの箇所(ドア)をきれいに拭く

② 室外機にサポートパイプを取り付け

室外機の裏側にサポートパイプを取り付けます。
サポートパイプの取り付け位置は錠ケースにより異なります。



使用する部品
サポートパイプ 2本

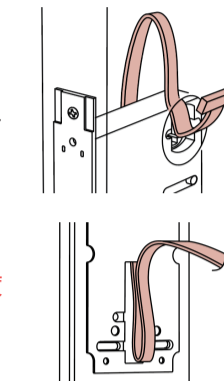
③ ドアにケーブルを通す

ドアのシリンダー切り欠き穴から室外機のケーブルを通します。
錠ケースの上をケーブルが通るようにし、錠ケースを取り付けます。

上を通さない場合、時間が経過した後には室外機がドアから浮いてくるため、必ず上を通すようにしてください。

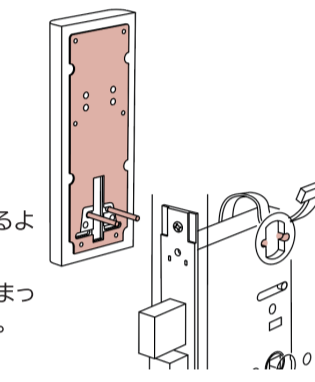
室内側に出ているケーブルは10cm程度にしてください。

それ以上のケーブルはドア内部か、室外機の内部に収めてください。



④ 両面テープの裏紙を剥がす

室外機の裏面に付いている両面テープの裏紙を剥がします。



⑤ 室外機の取り付け

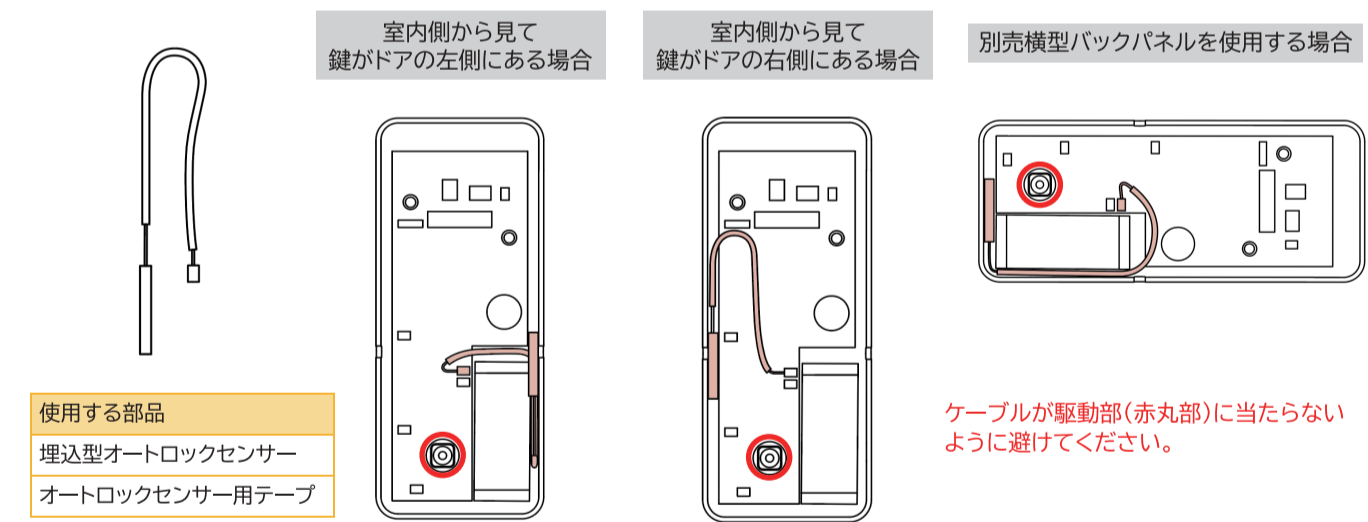
錠ケースにサポートパイプが通るようにし、室外機を取り付けます。
両面テープで固定されるため、まっすぐになるように取り付けます。

6-2. オートロックセンサーの取り付け

オートロックセンサーは埋込型と露出型があります。別売の横型バックパネルを使用する場合は埋込型のみ使用可能です。
また取り付けはドアを開めたときに、オートロックセンサーとマグネットの距離をできる限り近づくようにしてください。(最大10mm以内)バックセットやドア枠の状況によっても使えるセンサーが異なるため、状況に応じて埋込型と露出型を使い分けてください。

埋込型を使用する場合

① オートロックセンサーの取り付け位置を決める

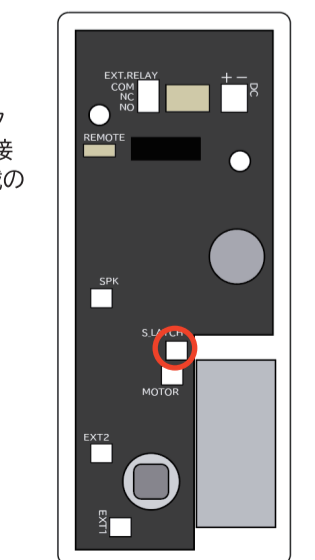


② テープで貼り付ける

オートロックセンサー用テープを使って、手順①で決めた取り付け位置にオートロックセンサーを固定します。

③ コネクタを接続する

オートロックセンサーのコネクタを室内機の基板の図の位置に接続します。「S.LATCH」と記載のあるコネクタ



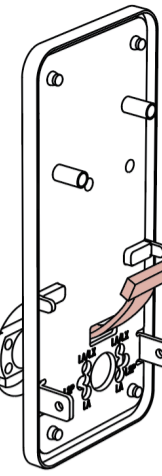
⑥ バックパネルにケーブルを通す

室外機から来ているケーブルをバックパネルの図の位置から通します。

ケーブルを**圧迫したり、傷つけないように**気をつけてください。
圧迫や傷は**動作不良や電池消耗の原因**となり、**保証対象外**となります。

ケーブルが圧迫されてしまう場合は、ドアをケーブルが通る部分だけ少し削り、圧迫されないようにしてください。

※バックセットやドアガード等の状況によりドアとバックパネルが干渉したりうまく取り付けできない場合は、別売の横型バックパネルを使用することで室外機を横向きに取り付けることができます。



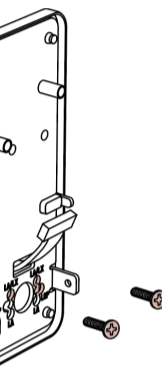
使用する部品
バックパネル

⑦ バックパネルとサポートパイプをネジ止め

バックパネルをドアにあてがい、サポートパイプとバックパネルとネジ穴が合うようにし、ネジで固定します。

ネジを強く締め過ぎると**歪みや動作不良の原因**となります。

電動ドライバーは使用しないでください。



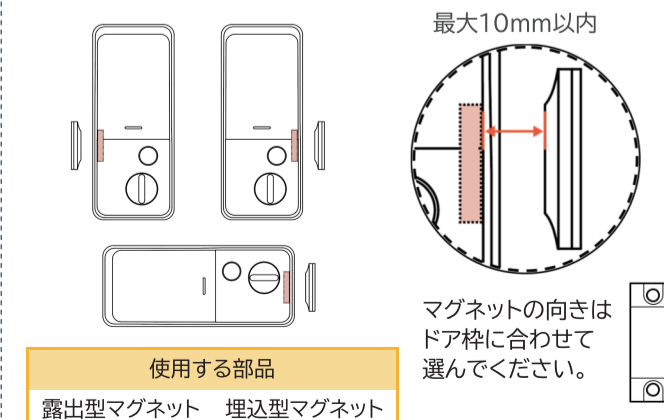
使用する部品
ドア厚30~45mm以下(目安): 低頭ネジ M4x27 2本
ドア厚40~50mm以下(目安): 低頭ネジ M4x35 2本

ケーブルが駆動部(赤丸部)に当たらないように避けてください。

④ マグネットを仮固定する

ドア枠にマスキングテープ等でマグネットを仮固定します。マグネットとオートロックセンサーの距離は**可能な限り近づけて**ください。(最大10mm以内)

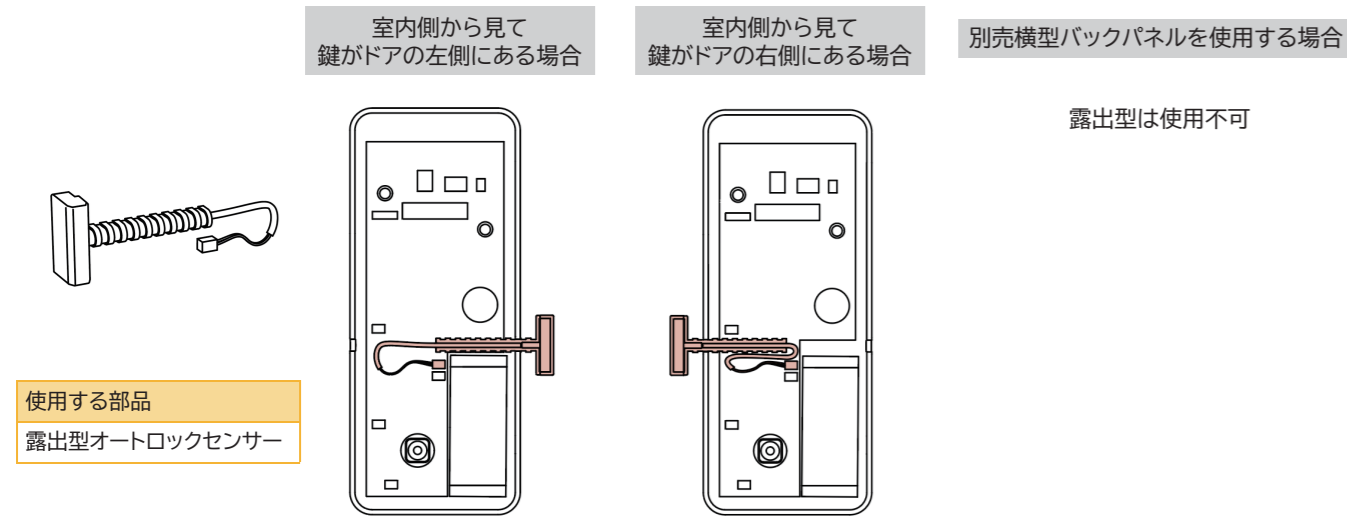
※この時点では、両面テープやネジ止めでの本固定はしないでください。



バックセットが短い場合や露出型マグネットを使用したくない場合は、埋込型マグネットを使用してください。

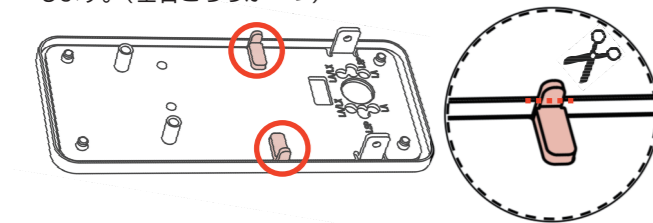
露出型を使用する場合

①オートロックセンサーの取り付け位置を決める



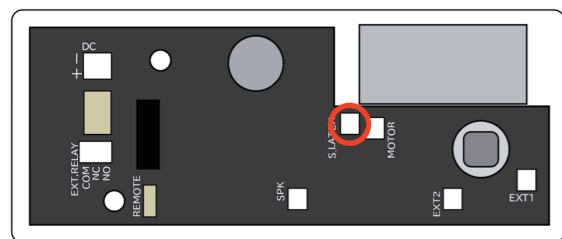
②ゴムパッドをカット

手順①で決めた位置と同じ位置にあるゴムパッドの耳をカットします。(左右どちらか一つ)



③コネクタを接続する

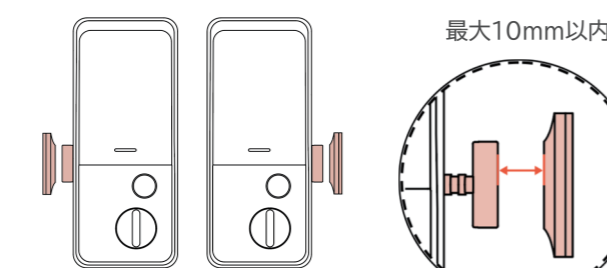
オートロックセンサーのコネクタを室内機の基板の図の位置に接続します。(「S.LATCH」と記載のあるコネクタ)



④マグネットを仮固定する

ドア枠にマスキングテープ等でマグネットを仮固定します。マグネットとオートロックセンサーの距離は可能な限り近づけてください。(最大10mm以内)

※この時点では、両面テープやネジ止めでの本固定はしないでください。

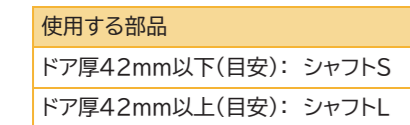


バックセットが短い場合や露出型マグネットを使用したくない場合は、埋込型マグネットを使用してください。

6-3. 室内機の取り付け

①シャフトを錠ケースに差し込む

錠ケースの穴とシャフトがきちんと噛み合うように(シャフトを回せばデッドボルトが出たり引込んだりするように)、シャフトをきちんと奥まで入れます。



②ケーブルを接続

室外機から来ているケーブルのコネクタを室内機のコネクタに接続します。差し込む向きに注意して、奥までしっかりと差し込みます。

③室内機を取り付け

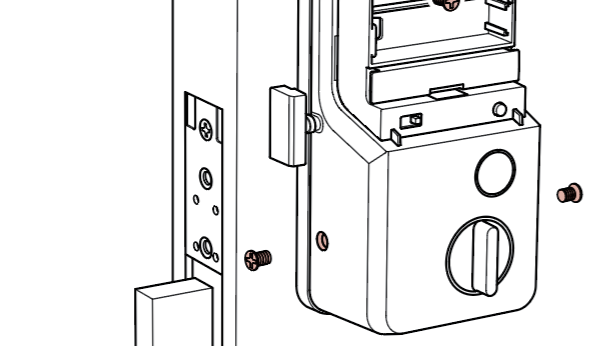
③-1 室内機をバックパネルにはめ込む

シャフトは室内機裏側の四角穴に入ります。そのため、サムターンを0度もしくは90度の位置にした状態で、室内機をはめ込みます。



③-2 サムターンで施錠できることを確認

サムターンを回してデッドボルトが動くことを確認します。サムターンが回らない場合は、一度室内機をバックパネルから外し、サムターンを90度回してから再度バックパネルに室内機をはめ込みます。



7. 初期設定

締め出し防止のため、必ずドアを開けた状態で行ってください。

①ドアが閉まらないようにする

ドアが閉まらないようにストッパー等でドアを固定します。

②電池を入れる

付属の電池はテスト用電池のためすぐに電池不足となります。Panasonicのエボルタ(推奨)をご用意ください。

③モーター回転方向(右勝手・左勝手)の設定

本機は錠ケースと室内機の取り付け関係により、モーターの回転方向が異なります。そのため「**解錠しました**」「**施錠しました**」の音声**が実際のデッドボルトの動きと合致するように設定**します。

解錠ボタン押し、デッドボルトが引込んだときに「解錠しました」、デッドボルトが出たときに「施錠しました」の音声が流れれば正しく設定ができています。

1. ドアを開けたまま、ナンバーパッドをタッチして、数字が点灯するのを確認
点灯しなかったり、一瞬点灯してすぐに消える場合は、サムターンを90度回して、再度ナンバーパッドをタッチし数字が点灯するのを確認
2. ユーザー暗証番号を入力 (初期設定[1234])
3. [#]を3回入力
4. [4]を入力 ([1]左回転(初期設定) [4]右回転)
5. 登録ボタンを押す
6. 解錠ボタンを押し、デッドボルトの状態と音声が合致していることを確認

※上記設定でうまくいかない場合は、手順4で[1]を入力してください。
※音声が聞こえない場合は、音量の設定と、音声の設定を確認してください。

④暗証番号で解錠できるか確認

1. ドアを開けたまま、解錠ボタンを押し、施錠状態(デッドボルトが出た状態)にする
2. ナンバーパッドをタッチし、数字が点灯するのを確認
3. ユーザー暗証番号(初期設定[1234])を入力
4. [*]を入力
5. 解錠する(デッドボルトが引込む)のを確認

その他の初期設定

一部機能のみ抜粋して掲載してあります。詳しい操作方法は取扱説明書をご確認ください。

音量の設定

開扉 → 施錠 → ユーザー暗証番号 → [#] → [3]大きく/[6]小さく → 登録ボタン

音声の設定

開扉 → 施錠 → ユーザー暗証番号 → [#] → [8] → 登録ボタン

※この操作を行うと音声モードとブザーモードの設定を交互に繰り返します。

オートロックの設定

開扉 → 施錠 → ユーザー暗証番号 → [#] → [2]有効/[5]無効 → 登録ボタン

モーター作動の設定

開扉 → 施錠 → ユーザー暗証番号 → [#]3回 → [8]有効/[0]無効 → 登録ボタン

認証時リレー出力の設定

開扉 → 施錠 → ユーザー暗証番号 → [#]3回 → [7]有効/[9]無効 → 登録ボタン

8. 動作確認

①ドアを閉めると自動的に施錠されるかの確認

ドアを閉めて、自動で施錠されるかを確認します。自動で施錠されない場合は以下の点を確認してください。

- オートロックが有効になっているか
- オートロックセンサーとマグネットの距離は10mm以内か
- オートロックセンサーのコネクタはきちんと挿さっているか

②ドアのガタツキによって侵入警報が鳴らないかの確認

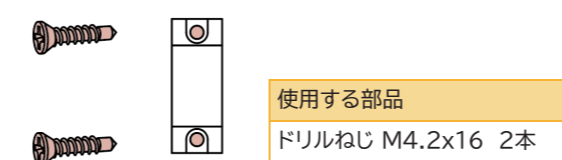
1. ドアを閉めて、施錠状態(デッドボルトが出た状態)にする
2. そのまま何もせず30秒待つ
3. 施錠状態のまま、ドアを押したり引いたりして、ドアがガタついていてもアラームが鳴らないことを確認する

※アラームが鳴った場合は電池を抜くと止まります。

侵入警報は施錠中にオートロックセンサーとマグネットが離れることにより発生します。ドアがガタついていてもオートロックセンサーとマグネットの距離が10mm以上離れないように、できる限り近づけて取り付け直してください。

9. マグネットの本固定

仮固定していたマグネットを両面テープやネジで本固定を行います。最後にハンドルや錠ケースのフロントプレート等を取り外した手順と逆の手順で元に戻したら本製品の取り付けは完了です。



番外編 シリンダーを残す取り付け方法

こちらはシリンダーを残すことで非常時は今まで通り鍵を使って解錠することを可能にする取り付け方法です。

基本の取り付け方法はシリンダーを残さない場合と同じです。

事前に前項1~6をよく読み理解してから下記の方法を読んでください。

シリンダー無しプレート(別売)を使う場合

シリンダー無しプレートを使うと、ドアに穴を開けずに取り付け可能です。

①室外機をシリンダー無しプレートに取り付け

1. 室外機の両面テープを剥がす
2. 室外機のケーブルをシリンダー無しプレートに通す
3. 室外機をシリンダー無しプレートに貼り付ける
4. シリンダー無しプレートと室外機をネジ止める

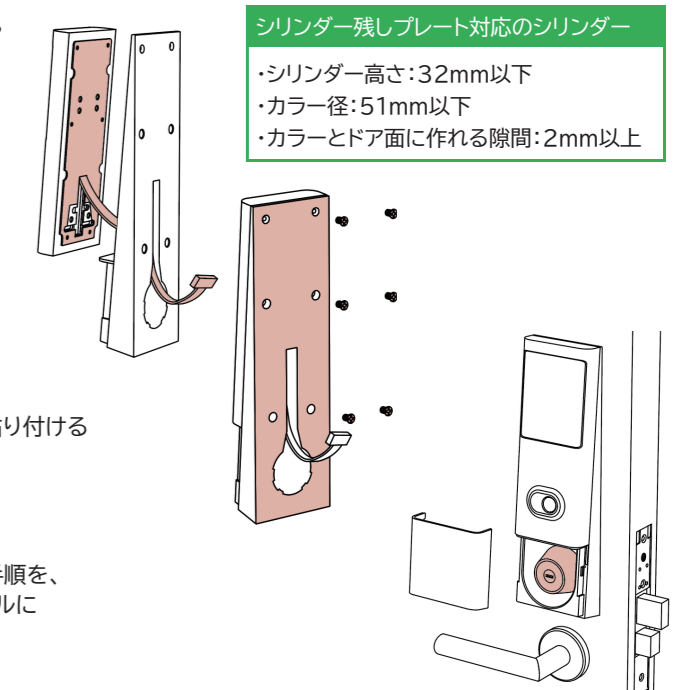
②ドアにケーブルを通す(6-1-③を参照)

1. シリンダー無しプレートの両面テープを剥がす
2. ドアにケーブルを通す
3. シリンダー無しプレートをシリンダー取り付け穴に合わせて貼り付ける

④シリンダーを取り付け

⑤以降シリンダーを残さない場合と同じ

MIWA LAタイプの場合は6-1-⑦「LA金具Cを取り付け」以降の手順を、MIWA LSP、GOAL LX/TXタイプの場合は6-1-⑥「バックパネルにケーブルを通す」以降の手順を行います。



サポートパイプを使う場合

シリンダー無しプレートに対応していないシリンダーの場合は、サポートパイプを使うことでシリンダーを残すことが可能です。

①サポートパイプを室外機に取り付け

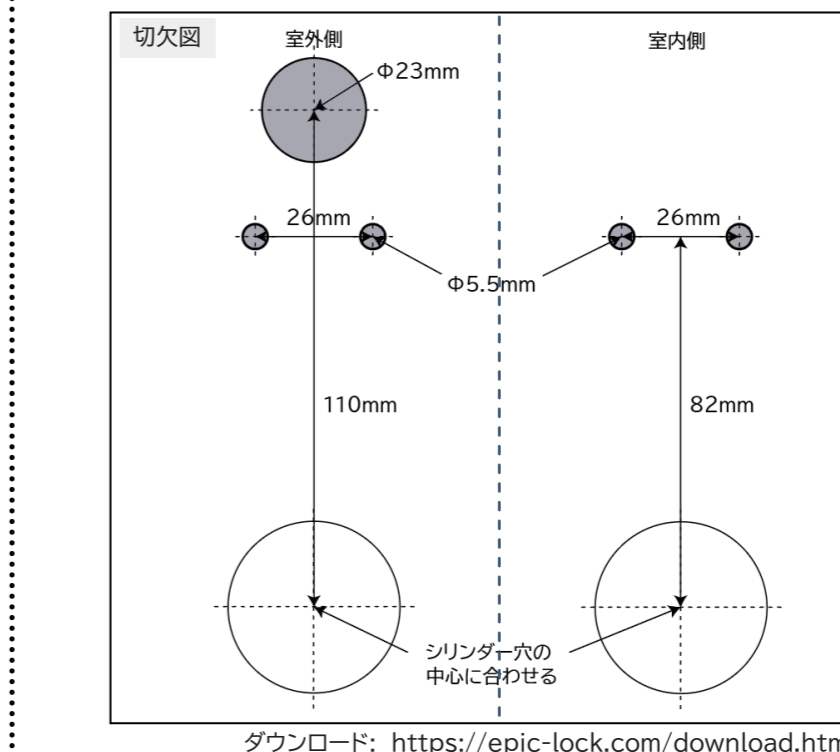
室外機の裏側の右側の位置にサポートパイプを2本取り付けます。

②切り欠き図の通り、ドアに穴を開ける

サポートパイプ用とケーブル用の穴を開けます。

③以降シリンダーを残さない場合と同じ

6-1.「MIWA LSP、GOAL LX/TXタイプの場合」の③「ドアにケーブルを通す」以降の手順を行います。室外機と室内機を取り付ける際は右図ようになります。



番外編 その他の接続

